

# 統合マネジメントシステム

<p><b>概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織がISO9000（品質）、ISO14000（環境）そしてOHSAS18000（労働安全衛生）などマネジメントルールとして効果的に実施を運用するためには統合化が不可欠である。</li> <li>・統合マネジメントシステムの目的は、企業活動が効果的で効率的なものとなるシステムの総称である。従って、企業の規模、業種、業態によりその位置づけ及び運用は異なる。</li> <li>・ここでは統合マネジメントシステムの進め方とそのポイントを紹介するものである。</li> </ul>
<p><b>最新情報</b></p>	<p><b>&lt; 関連法規の動き &gt;</b>          現在では統合マネジメントシステムとしての規格はない。          監査という面では、ISO19011 で複合監査として「品質マネジメントシステム及び環境マネジメントシステム監査」を一緒に行う監査を定義している。</p> <p><b>&lt; 関連技術の動き &gt;</b>          統合化マネジメントシステム対応としてのマニュアルの統一化、規格の共有化・共通化や統合監査          ISO19011 規格による複合監査及び統合化監査の監査員養成          企業のマネジメントシステム評価（自己評価）との連動</p> <p><b>&lt; 業界の動き &gt;</b>          効率的なマネジメントシステム実践と検証を行う。          外部審査の効率を高め被審査側の負荷を軽くして、企業の継続的改善に寄与する。          内部監査や二者監査への適用により、企業経営評価としての全体最適をみきわめ、有効なマネジメントシステム構築及び運用を推進する。</p> <p><b>&lt; 今後の課題 &gt;</b>          統合マネジメントシステムは企業経営そのものであり、企業活動が効果的で効率的なものにするシステムには、「統一化マニュアル」や「規定・手順の共有化・共通化」、さらには「体制の統合化」などがある。企業の状況では、「集中型統合システム」とするのが有効な場合もあるし、「分散型統合化システム」とするのが良い場合もある。          統合マネジメントシステムは、「統一システム」ということではなく、あくまでも「企業活動の最適状況を確保するシステム」である。この点を踏まえての企業体質に合わせた体系化された統合マネジメントシステムを提案することが大きな課題である。</p>
<p><b>当センターの活動</b></p>	<p><b>&lt; セミナー・出版物の紹介 &gt;</b></p> <p>(1) セミナー：(株)新技術開発センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサルタント養成コース(案)</li> <li>・統合マネジメントシステムと自己評価(案)</li> </ul> <p>(2) 出版物：(株)新技術開発センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合マネジメントシステム規定事例集(案)</li> </ul>